

起因物、事故の型：はしご等 - 動作の反動無理な動作の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	業種小コード	労働者規模
1	11~12	空調機フィルター清掃作業の際、洗浄機のフィルターを脚立に乗って元の場所に取り付け完了の後、脚立から降りる時に左ふくらはぎに激痛を感じ、肉離れを負った。	57	150101	30~49
1	14~15	工事におけるA3椅台型枠のPコン撤去作業の際、立馬（H=600）を用い作業をしていたが工具（Sバール）が必要となり、取るために一旦立馬から降りようとしてバランスを崩し転落し、転倒して左足を強打した。	61	30105	—
3	11~12	駅長事務室内の踏切監視モニターよりブザー音が発生した。そのブザー音を止めるため、業者に連絡し、脚立にてモニター裏の機器類を電話しながら操作していたところ、バランスを崩し高さ約45cmの脚立から足を踏み外し、その際に左腓腹筋部を痛めた。	54	40101	50~99
3	18~19	ストックにて商品をスチール棚から取ろうとして脚立に上り、商品を持って脚立から降りる際に左足が床に着地し、右足が脚立にある状態で右膝が曲がったときにパチッと音がして、右足が全く動かなくなった。	22	80201	100~299
5	9~10	組立第二工場内にある3V4G自動機に成形単品を供給するため、単品が入っているバケットを持って踏み台に上った。単品供給を終え、空バケットを持ったまま踏み台を降りたところ、左足ふくらはぎに強い痛みを感じ、歩くことが出来なくなった。	45	10805	300~499
5	9~10	船底にあるバラストタンク入口付近バラストタンク（二重底）に塗装後の膜厚測定に入るため、通路から3段程度の垂直梯子を下りる際、手すりを持つ腕が伸びた状態（両足は床面に着いていた）になり、右肩に激痛を感じ、その後しばらく腕が上がらなくなる。	51	11501	1~9

5	14~ 15	工場内において、パークッキーの菓子生地を機械に投入する作業中、作業台から落ちそうになったため、体勢を整えようと踏ん張った時に足首をひねった。	37	10104	100 ~ 299
5	20~ 21	トイレに行く為、加工現場の階段を降りて左へ曲がろうとしたところ、バランスを崩して左足首を捻挫した。	35	11502	1000 ~ 9999
6	13~ 14	工場内でペットボトルの粉碎中に、作業を終えて作業台（60cm）から降りる時に、足を踏み外し、作業台から転んで、靭帯を痛める怪我をした。	23	170209	1~9
6	21~ 22	店舗内の事務所において、事務所内上部棚に補充在庫を格納するため3段脚立を使用し作業した。格納後、脚立の一番下の段より降りる次の行動を意識し、体を反転させながら降りようとしたが、足が思い通りについて来ず、左足の小指の辺りから着地し負傷した。	32	80209	30~ 49
6	11~ 12	作業場入口で洗車時、車の屋根部分の拭き取り作業を終え、脚立から降りる際、足を踏み外し、体を捻りながら着地した為、腰を痛めた。	67	170101	100 ~ 299
7	18~19	駐車場内に於いて、作業が終わり、日報を提出し、家に帰るため自家用通勤車に乗ろうとした時に、ダンププロテクターの上にスコップを置いたままだと思いだし、スコップを下ろそうとして、ダンプの梯子を上がり、片付け、降りる時にサイドバンパー下段に足を掛けたが滑って足を踏み外してしまい、右腕1本で支えたが体重で肩を痛めた。	54	40301	1~9
7	18~19	工場内ヤードで、橋梁の横桁のたたみ作業及びふだ付作業をしている時隣で、横桁の漆接板をクレーンでばらしていた。クレーンオペレーターが玉掛合図者の巻き上げストップの合図がわからなかったため、H桁に並べてあった横桁が崩れ下敷きになり足を負傷した。	25	40103	500 ~ 999
7	9~10	8キロぐらいの手荷物を落ち、スラブから隣の屋根に上がるため脚立に足を掛け隣に移る時に左ヒザの左側部分にプチッと何かが切れるような音がして、その場にうずくまり歩行不能となった。	52	30209	1~9

7	9～ 10	大根を入れる段ボールを組み立て中、15cm程の高さのパレット台から右足を踏み外し、足をついた際に足首をひねってしまった。	70	170101	100 ～ 299
7	9～ 10	大根を入れる段ボールを組み立て中、15cm程の高さのパレット台から右足を踏み外し、足をついた際に足首をひねってしまった。	70	10109	1～9
7	17～ 18	本社工場粉体棟の篩過室にて、フロービンの蓋を外し、踏み台を後ろ向きに降りたとき、バランスを崩しそうになったため、床に下ろした左足に体重をかけ踏ん張ったが捻って、左足ふくらはぎの肉離れを起こした。	44	10109	100 ～ 299
7	10～ 11	解体室作業場にて、4号機の前作業に入るために一段高い所へ登ろうとし、10cm程の高さの踏み台に右足をのせるときに、踏み台の端にのせてしまい、足首を挫いてしまった。	67	10101	100 ～ 299
9	16～ 17	脚立を使用してラック上段に用品の格納をした。格納後、脚立から降りる時に一段踏み外して着地をした時に痛みを感じた為、病院へ行った。	53	40301	1～9
9	8～9	ハウスの修理の作業中に、ハシゴから下りる途中で足を滑らせて着地した際に、右足首をひねった状態で着地し、捻挫した。	30	60101	1～9
10	15～ 16	工場内にて、スチール棚の上にある段ボール箱を取るために脚立に上がって作業していたところ、脚立から降りた際、左足をついた時に肉離れをおこしたものである。	47	11703	1～9
10	17～ 18	会社で高さ50cm位の台に乗り、商品を下ろし終わり、台から降りる際に足首を捻ってしまい（左足）骨折したものである。	42	80109	1～9
10	14～ 15	構内にて、ダクトの積み上げ作業中、脚立で昇り降りを繰り返していたところ、5度目に降りた際、左足首に激痛が走った。	26	11209	1～9
10	18～ 19	売り場にて品出し作業中、脚立に乗り天板上の商品（コタツ布団）を下ろそうとしたところ、バランスを崩し不自然な体勢で腰を捻ってしまった。腰椎捻挫。	20	80203	50～ 99
		成形室のプレス機で、製品をセットする為に踏み台に登り、降りる際に			

11	18~ 19	左足に痛みが走った。当日、夜間外来で「肉離れの可能性がある」と診断、鎮痛剤を処方される。歩行中も痛みがある状態が続き、後日に再度整形外科を受診し、左足ふくらはぎ肉離れ全治2週間の診断を受け安静療養となる。	41	10805	100 ~ 299
11	13~ 14	本館外買い場にて、お客様ご購入商品のエースパネル（高1800×幅900×厚12mm、1枚12kg）を30枚、他従業員と木材台車にて平積みで運搬中に台車キャスターが地面溝につかえた際にバランスが崩れ、前方にて運搬中だった当該従業員の太もも付近にて下敷きになり転倒した。	35	30203	1~9
11	16~ 17	エアコンのフィルター清掃中、5尺の脚立に登り片側のフィルターを外して降りている時に、脚立の下2段目から左足を床に降ろした時、左足のふくらはぎ中央が肉離れになった。	46	150101	1~9
11	14~ 15	工場内第2組立課のリアサス搭載工程で、トルクレンチを使用してボルトの締め付け作業を行っている時、トルクレンチをしっかりと握っておらず手を滑らせて親指をひねり捻挫した。	23	170101	100 ~ 299
11	13~ 14	2段式脚立の最下段から後ろ向きに降りた際、右足着地の時に足が前に滑り、脚立の最上段に載せていた荷物にしがみついた時、足に痛みを感じた。	39	40301	50~ 99
12	14~15	当社店舗にて、脚立を使用して店頭ガラス清掃中、脚立から降りる際に足を踏み外し負傷した。	33	140309	10~ 29
12	11~12	当社作業所内で、高さ180cmのチラシ折機へチラシをセットして、高さ40cm位の台に乗って作業し、台から降りるときに右足脛にプチッと切れる感じがし、歩けなくなる怪我を負った。	50	80205	10~ 29
12	10~11	食品倉庫で食材の仕分け作業中、仕分けスペースを空けるため、しゃがんで床に置いてあった梯子をずらしていたところ、膝がロッキングして歩けなくなり、救急車で病院に搬送された。	28	80209	50~ 99

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_08.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html)